



過日、大阪北部において震度 6 弱の地震が発生しました。みそら野別荘地には、大阪市北部、高槻市、枚方市ほか近隣にお住いの方も多くいらっしゃいますので怖い思いをされたこと、そして各種被害と影響に難儀されたのではないかと心よりお見舞い申し上げます。

そして今回の西日本に甚大な被害をもたらした豪雨に関しまして、この豪雨に遭われた方々、そして縁のある先が被害にあわれた方々へ、この紙面を借りて心よりお見舞い申し上げます。毎日のニュースによって遠く離れている白馬でも刻々と被害状況を知ることとなり言葉を失う思いです。人命、住居、生活そのものへの影響だけでなく、交通網インフラ等各種の寸断によりご不自由も続くことと思います。これから暑さも厳しくなります。台風も控えています。どうか皆様ご無理をなさらずご自愛ください。

白馬では早すぎる梅雨明け情報に懐疑の念を持ちつつ、長く暑い夏を覚悟していたところ、再びの雨模様。以前も雑記として書いたことがあります。白馬は関東甲信が梅雨明けといっても、北陸が梅雨明けしない限り、梅雨空は残ります。日本列島の弓なりの形、梅雨前線の形をご覧になるとそのことが一目瞭然かと思えます。やはり・・・白馬はまだ盛夏の如き日と肌寒い梅雨模様が日毎闘ぎあっています。

お 知 ら せ

7月 15 日～8 月末日まで・・・

みそら野管理事務所は、休まず営業致します。

営業時間は、AM8:30～PM5:00

ゴミステーションも営業時間に合わせて開錠しています。施錠時間に退去される場合は、前もってご連絡ください。鍵の番号をお教えします。

4月より白馬村～大北全域のゴミ分別が細分化されたことを受け、みそら野別荘地のゴミ受け入れも、細かくそして厳しく対応を始めました。皆様のご協力も進んでまいりましたことに感謝しています。尚、一層のご協力をよろしくお願いいたします。

次の粗大ゴミは秋に回収予定です。粗大ゴミを出される方は、夏の滞在時等にご連絡ください。管理事務所ではお預かりスペースがないため、各ご別荘の邪魔にならない場所に保管お願いします。

ご注意ください ⚠

6月某日、平川向かいの名鉄別荘地に熊2頭現るの報。そのうちの1頭が平川を渡ってみそら野別荘地へ向かったとの続報。この時期の熊は、桑の実やさくらんぼを好んで食べに里へ下りてくるそうです。その後、熊はジャンプ台方面から山へ入っていったようです。その後みそら野別荘地での目撃情報はありませんが・・・早朝に、源太郎あたりまでウォーキングしている方も存じていましたので、注意喚起させていただきました🐾

また、6月某日。管理事務所のMの家族が、白屋細野筋でカモシカに体当たりされ、車が大きく破損するという事案発生。カモシカは何事もなかったように去っていったそうです。聞くところによると、最近では、カモシカと車の事故が4件続いているとのこと。大きな事故にもなりかねません。昼夜、人通りの多少に関係なし。大型動物にご注意ください。

🌿ガーデニングイベントの報告🌿

GWの5月5日、お天気にも恵まれ今年の第一回ガーデニング講習会を開催しました。

前半はみそら野別荘地内で「花が育つ土づくり」をテーマに、どんな土で肥料は何かが良いか等々太田造園社長の実演とお話、後半は山野草が見頃になっている落倉のオープンガーデンを見学しました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

夏のイベント情報

「第20回白馬国際音楽祭」

みそら野夏のイベントとしてすっかり定着した白馬国際音楽祭が7月25日(水)～28日(土)の3日間開催されます。これまでに演奏家は延べ140名、入場者は海外からの方を含めて約9,500名の参加とのこと。詳しくは音楽祭のプログラムを同封しましたので是非ご覧ください。夏の宵に美しい音楽を♪

「NAGANO 国際音楽祭 in 白馬」

7月20日から白馬村にて、澤和樹(東京藝術大学学長)監督の下「NAGANO 国際音楽祭マスタークラスのセミナーが開催され、そのセミナーに参加した将来世界に羽ばたく有望な受講生によるスチューデントコンサートです。昨年は会場が満席になるほどの盛況ぶりとの事。

詳しくは…アンプロムプテュ白馬 山口様まで☎080-3663-3690



白馬乗鞍高原「ホタルの郷」

6月中旬から8月下旬までの長期間にわたり、ホタル観賞が出来る全国でも類まれなホテルの生息地であり、ピークには数百匹のホタルが夕闇に乱舞します。公園入口にて、期間中毎晩ホタルの会の会員が、ホタル観賞のポイントを案内しています。詳しくは…☎080-2258-7739

開催期間：6月16日～8月19日 時間：19：45～21：00

『鹿島槍ヶ岳カクネ里の氷河探訪ツアー&学習会』開催のお知らせ

前回のみそら野だよりで、五竜の小遠見から見学できる、日本では数少ない氷河にこの度認定された鹿島槍ヶ岳カクネ里の事を書きました。この話に興味を持ってくださる方もありましたので、管理事務所主催『カクネ里探訪』を講師の先生をお迎えして開催することにしました。

日時>>> 9月16日(日) 9時頃(確定は後日)五竜の Gondola 乗り場集合

内容>>> 五竜の Gondola とリフトを乗り継ぎ、高山植物園最上部へ～

そこから徒歩で小遠見山トレッキングコースを小遠見山近くまで(ゆっくりと2時間)～

カクネ里の氷河が指呼の位置に見えるあたりで講師の先生から説明を受け～昼食～

北アルプスを眺めながら～高山植物園に咲き誇る秋の花々を愛でながら下山～

管理事務所2階会議室で講師の先生を囲んで茶話会&北アルプス地質の講義も!!

講師>>> みそら野別荘地で発掘させていただきました(^_^)♪ 地質学者の吉田勝さんです。

日本国内にとどまらず毎年ネパールでのヒマラヤ地学野外研修実施やら海外での地質学会出席やら・・・お忙しいことを承知の上(^_^)講師をお願いしました。笑顔でボランティアとしてお引き受けくださいました。有意義で楽しい学びの時になるはずです。

この会の詳細は、追ってHPのfacebookでお知らせしてまいります。興味をお持ちになった方、参加ご希望の方は、ご連絡ください。大勢のご参加お待ちしております。



長野県～周辺

北海道ニセコに始まった海外からのスノーリゾートブーム、『白馬』は『HAKUBA』として海外から認知され、多くの国々から大勢のスキー(スノボ)客を迎えるようになりました。そして、白馬八方尾根から、小谷村を含む HAKUBA VALLEY 全体へ、野沢温泉、妙高高原へ、志賀高原一帯も視野に入ってきたようですし、瞬きしている間に急速に海外からのスキー客と受け入れるために business が展開されています。

白馬全体

和田野・八方を中心として、エコーランド、そしてみそら野別荘地は、急激に変化を遂げています。東京(大手企業)、海外からの資本も本格的に入ってきていますし、地元業者の開発に向けての動きも……。息を吹き返す白馬、再び活気を得るスキー場、そしてその先に何を見るか、今を捉え、そして未来へ何を繋いでいくのか……。未来を考えるには、過去、歴史、そこにあったものそこに居る人を大切にすることも忘れてはならないですし……。バランスよく発展していくことを大切に不動産の仕事に向き合い続けたいです。

みそら野別荘地

昨年からはじめた傾向、人気のエリアの中古建物売り物件がなくなり土地が動きはじめました。特に今年になってからは、3次分譲地4丁目(エコーランドに近い)売地が下(東)から順に勢いよく動いています。土地購入後は、貸別荘、もしくはご自分の別荘と季節的貸別荘の併用、というものが多数を占めますが、従来通りのご自身の別荘建築、住宅建築もあります。今年白馬では大工さんをはじめ建築関係者は大忙し。みそら野別荘地の中も建築ラッシュとなっています。新築、リノベーション、庭造り・・・とても楽しみです♪

環境に関して

建築の際には、どうしてもアカマツを中心に樹木の伐採が行われます。これは樹木の性質から見ても必要です。しかし、土地のほとんどの樹木を切ってしまう事例も増えてきました。緑あふれる環境があるからこそのみそら野別荘地では?? 隣との間に樹木緩衝地帯を設ける指導はしないのか?? 等の苦言をいただくことも増えてきました。これは確かによくないな・・・という例も増えてしまい苦慮しています。土地売買の際に弊社が間に入っている場合は、この点についてきちんと説明とお願いをしています。

そこで『みそら野別荘地の環境保全のために、樹木伐採の際に残せる樹木は残しましょう。もしかなりの樹木を切らざるを得なかった場合は、建物建築後に樹木植栽や庭造りをしてください!!』という趣旨の要請文書を、他業者、最近建築された方、これから建築される方、建築業者宛に英文併記でお配りしようとしています。

お詫びと言い訳

みそら野管理事務所不動産担当は、かつてない量と質、二度と同じことは無理であろうという不動産売買に取り組んでいます。すでに売却依頼を受けている方への状況報告・動きのない地区の新規取り組み・査定・売却ではないけれど不動産絡みの相談・・・どうしても手薄になっています。お待たせする事も多々あります休まず帰らず必死で取り組んでもここが私の限界値。ご迷惑をお掛けしている方々にごめんなさい(泣)

☆☆☆☆ 小さなお知らせ あ・らかると ☆☆☆☆

★2017 夏号で『武藤衛さんのみそら野ヒストリー』の連載予告をしましたが、武藤氏が遠方へお出かけのため、再び連載を次号へ延期致します。

★白馬村では、7月31日告示、8月5日投票日、村長選挙が行われます。

★盛りは過ぎてしまいましたが、今年の樽池自然園の水芭蕉は、稀に見るあたり年と聞いています。

★前回のみそら野だよりで鹿島槍ヶ岳のカクネ里が氷河と認定の記事を書き、9月にはカクネ里氷河探訪の学習会を予定していますが、北アルプス唐松岳の唐松沢雪渓も『氷河』の可能性があるという予測において、調査団が結成されました。調査団は、新潟大学大学院自然科学研究科、カクネ里氷河調査の指揮をとった立山カルデラ砂防博物館、白馬山案内組合、村教育委員会等で構成され、氷河の定義を満たすのか調査に入ります。

「白馬」という言葉から...

俄か古典・地理講座

枕草子に青馬あおうまの節会せちえについての記載があります。この青馬の節会とは何か・・・奈良時代に始まった宮中の年中行事の一つ、青馬を天覧の後、高貴な人々を招いて宴が催されたそうです。青馬とは葦毛(灰色の馬)をいうそうですが、正月7日にこの青馬を目にすると、その年一年の邪気が払えるという中国の故事に由来した行事です。後の村上天皇の頃には、青馬あおうまの節会ではなく白馬あおうまの節会と書き改める。Wordで「あおうま」と打つと白馬と変換されますのでお試しください。日本には純粹の白い馬は自生しておらず、灰色の馬が白い馬として特別な存在を担っていたのか?応仁の乱でこの行事は中絶、のちに再興して明治初年まで行われていたそうです。

もう一つ『白馬』について。ご年配の方はごく自然に使われていた言葉(地名)の変遷について。春、農事、代掻きの頃に雪形『しろかきうま』が現れることから、『代馬(しろうま)岳』→充てる漢字が変わり『白馬岳(しろうま)岳』→読みが変わり『白馬(はくば)岳』。

今では、HAKUBA として海外からも認知され、白馬村のゆるキャラ『グイクトワール・シヨルブラ村男Ⅲ世』ものほほんとした白い馬。



雑記

暑い夏になりそうですね。日本列島は猛暑。

白馬も日中はじりじりとした真夏の陽射しが照りつけています。しかし、夕には急に涼やかな風が吹き始め冷涼な避暑地の夜を迎えます。朝は爽やかな空気の中、ちょっとした外仕事が捗ります。

みそら野別荘地内は、動物達も予てより住民意識が強く、大～小まで賑やかです。リスの可愛さに魅せられて、リビングの窓の外に餌台を置いて毎日ご挨拶している方、出窓の中に餌を置き、中へどうぞ!! と声掛けに余念のない方。Nice♡

私は、いつか・・・みそら野別荘地人間模様、素晴らしい人探訪、素敵な生き方特集、不動産驚愕事件ベスト10、動物の主張、管理事務所の内幕・・・硬軟美醜とりまぜて書くことを妄想することがあります。筆力がないので出版は諦めます(笑)

皆様くれぐれも御身おいとくださいませ。(^^♪
そして、暑さに負けずによい夏を !!